

【小論文】

解答例

問題1 密告＝独裁者(組織のトップ)の決めた不正なルールを正そうとするものを見つけ出すための情報提供(それにより、違法行為を是正しようとするもの)が抑圧される。密告は、権力者の権力基盤維持の道具となるので、(非民主的組織の)権力者にとっては奨励される。

内部告発＝組織の内部の人間が、外に向かって、自らが属する組織の行っている不正や違法行為を是正するための情報提供(それが明らかになることは、組織のトップの権力基盤が揺らぐ。内部告発は、権力基盤への挑戦とみなされ、権力者から歓迎されない。

問題2 「会社のため」(組織への忠誠)「社会のため」(公益)の間の矛盾・葛藤。内部告発は、組織の権力者に対する挑戦とみなされて、抑圧されるか、そうでなくとも歓迎されないため、組織内での孤立を招き、公益的に良いことだとわかっているにもかかわらず、組織においては、悪とみなされることへの恐れ・組織か社会的正義のいずれを優先すべきかという葛藤が生じる。

問題3 違法行為が継続すれば結局において、会社の利益は損なわれるので、公益と忠誠心は矛盾するものではなく、一致するものであると告発者が認識し、それを社会が支持する場合には、矛盾・葛藤は克服される。(告発と密告が似て非なるものであるという認識が醸成されること、告発による公益の実現は、私益・会社への忠誠心を遥かに凌駕するという考え方も可)

したがって、社会が、公益と忠誠心は矛盾するものではなく、一致するものであることを社会が認識し、告発者の保護・告発妨害・告発者への圧力に対する非難が行われ、法制度において、告発妨害に対する適正なファンクションが機能する社会制度が整えられること。

以上